

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院形成外科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

労働災害による熱傷患者の検討

[研究の背景と目的]

労働災害で熱傷(やけど)を受傷する方が多くいらっしゃいます。熱傷は医療機関の受診までに適切な初期対応を要し、一度治癒しても再度受傷する可能性があります。しかし個々の受傷起点や治療期間に関して詳細な検討がありません。今回、この研究を行うことで労働災害による熱傷の実態を明らかにすることを目的とします。繰り返し起こる労災熱傷を報告することで再発予防につなげることが期待でき、労働災害での熱傷受傷数を減らすことができると考えております。

[研究の方法]

対象となる方

業務中に熱傷を受傷された患者さんで、2014年1月1日から2018年12月31日の間に東京医科大学病院形成外科を受診された方を対象としています。

研究期間

倫理審査承認日から2021年12月31日

利用する検体やカルテ情報

電子カルテを用いて年齢、性別、職業、受傷した原因、初期対応の有無、受傷部位、熱傷の程度、入院や手術の有無、創治癒までの期間を確認します。

検体や情報の管理

臨床研究責任者は診療録や被験者登録名簿などの個人情報に関わる秘密文書を厳重に保管します。臨床研究の関係者が閲覧する場合には、院外への漏洩がないように十分な指導管理を行い、データおよび文書を臨床研究責任者の責任のもと、院内に保存し

ます。なお、秘密文書の保存期間は東京医科大学病院で定められている規定に従い、廃棄に関しては東京医科大学病院で定められている規定に従って廃棄します。

[研究組織]

研究責任者 東京医科大学病院 形成外科 小宮 貴子

研究分担者 東京医科大学病院 形成外科 青木 優季

[個人情報の取扱い]

病院内での開示や学会等での発表を行う場合は匿名化(特定の個人を識別できないもの)して使用します。医学雑誌等に発表される場合は、いかなる場合もプライバシーに関する情報は一切公表されません。個人情報の保護は厳守されます。

試料や情報の管理責任者:東京医科大学病院 形成外科 小宮 貴子

[問い合わせ先]

東京医科大学病院 形成外科 小宮 貴子 tkomiya@tokyo-med.ac.jp